

モニターレポート(3月報告)

【報告内容①】

3月2日午前7時頃 県道17号線の満願寺の信号辺りから阿賀野川に降りる途中、満願寺閘門の辺りの水面に発泡スチロールのゴミが浮いていました。黒い小さな鳥(鴨でしょうか)が2羽仲良く水面で遊んでいました。満願寺閘門付近で小型の釣りボートが実際に操業しているのを初めて見ました。

阿賀野川河川事務所のホームページを眺めていました。

阿賀野川クイズ、各河川との比較、阿賀野川の自然など、小中学校の学校教育の場でも有効です。「人がいかに川等の自然に生かされているのかを知る」ことこそ教育の原点です。

〈事務所からのコメント〉

様々な面から阿賀野川を見られているということを報告から感じました。

釣り舟も鳥も阿賀野川の自然豊かな風景を表していると思います。河川敷公園もこれからは訪れる人も多くなり、阿賀野川の自然を楽しんでもらえる季節になります。

阿賀野川河川事務所では、小学校の総合学習の場に職員が出向き、阿賀野川についての学習や水質などの講座を行っております。

【報告内容②】

春めいたと思っていたら、3月10日は寒の戻りで積雪約10センチでした。水原方面から松浜の右岸堤防を走行、海岸に近づくにつれ積雪は増え、猛吹雪になりました。

東北の震災から3年、同等の津波が発生したら、阿賀野川をどこまで遡上するのかと思います。

〈事務所からのコメント〉

春に向けて季節は移り変わり、雪どけにより阿賀野川の流量は増えてきています。

津波のことについてですが、津波ハザードマップが新潟県防災局防災企画課から公表されています。そちらを見ていただくのが良いと思います。

阿賀野川河川事務所では、阿賀野川河口部の両岸の堤防を、より大きな地震に耐えられるように、堤防を強くする工事を進めております。平成26年度中には完成の見込みです。

※複数のモニター報告を要約してあります。

【報告内容③】

これから漁のシーズンです。生活排水などで川を汚すことを徹底的に防止しなければいけません。

水鳥が飛び、魚が豊富な川は必ず生き生きとしています。水潤む春が待ち遠しい釣り人も沢山いるでしょう。

〈事務所からのコメント〉

阿賀野川に生活する鳥は、川が持つ多様性豊かな自然環境のため、大変種類が多いことが特徴です。水面や水際を使って生活する「サギ」「白鳥」「カモ」、砂利や砂地を使う「シギ」「チドリ」の仲間、河川敷の草地を使う「ヒバリ」「キジ」、アシ原や林を使う「ヨシキリ」の仲間や「カッコウ」など120種以上という様々な鳥が観察されています。

川で生息する魚の種類も58種が確認され、その中には見るのが少なくなった「ヤリタナゴ」「イトヨ」なども含まれていて、魚が住みやすい環境が整っています。これだけの鳥や魚の種類が、狭い地域で確認されたということは、阿賀野川が育んでいる自然が豊かであるとの証です。

※複数のモニター報告を要約してあります。